

内閣官房知的財産事務局提出資料

平成25年11月21日

内 閣 官 房

クールジャパン推進会議の概要

クールジャパン推進会議の開催(H25.3~5)

- 稲田クールジャパン戦略担当大臣を議長として、発信力強化を目的とした、クールジャパン推進会議を設置
- 会議メンバーは、日本文化の第一人者である民間議員7名及び関係府省の副大臣等【民間議員】
秋元 康氏(作詞家)、角川 歴彦氏(角川HD会長)、金 美齡氏(評論家)、コシノ ジュンコ氏(デザイナー)、佐竹 力総氏(日本フードサービス協会理事)、千 宗室氏(茶道裏千家家元)、依田 巽氏(キヤガ(株)会長兼社長CEO)
- 計4回の会議を実施。第4回会合(本年5月28日)において「アクションプラン」を取りまとめ。

クールジャパン発信力強化のためのアクションプラン(日本産酒類関連抜粋)

- ①クールジャパンの発信の先駆として、世界で高く評価されている日本の食文化の発信イベントを海外で順次行う。その際、食材の発信やスイーツなどの活用にも配慮する。また、クールジャパンの発信に当たっては、相手国の文化等を理解した上で、食、日本産酒類、ファッション、ものづくり、コンテンツ等の連携の可能性を検討し、経済的効果に文化的価値を加えたトータルコーディネートも含めた日本ブランドの効果的発信を模索する。その際には、民間の優れた人材の活用等を通じて柔軟な発想を活かすことができるよう努める。
- ⑤外国の要人・著名人への働きかけや、内外でのイベント、在外公館の活動等を通じて、日本国内に滞在する外国人に対してはもとより、広く外国においても日本産酒類の魅力を日本産農林水産物・食品と併せて発信するとともに、輸出環境の整備を図る。

クールジャパン推進会議関係府省連絡会議の開催(H25.4～)

- クールジャパン推進会議において検討されるクールジャパン戦略の推進方策及び発信力の強化方策を具体的に各省連携で実施するため、クールジャパン推進会議の下に関係府省連絡会議を設置
- 本会議は、クールジャパン戦略担当政務官を座長とし、知的財産戦略推進事務局長及び関係府省の局長等をメンバーとする。
- これまで計5回の会議を実施。今後、本会議を通じて前述の「アクションプラン」の実行状況をフォローアップしていくこととしており、概ね3ヶ月に1回程度の開催を予定(直近の開催は本年9月25日)

今後の方針

- 9月に行われた関係府省連絡会議では、多くのイベントで各省連携の下、日本産酒類の発信が行われていることが情報共有された(別添参照)。
- 今後も各々のイベントにおいて、日本食や観光等の分野と連携しながら、効果的な発信を行っていくことが重要であり、知的財産戦略推進事務局としても関係省庁との連携を図りながら実施の支援を行う。